

令和4年11月30日発行

◆・☆・◆・☆・◆・☆・◆・☆・◆・☆・◆・☆・◆・☆・◆

農業担い手メールマガジン（第382号）

◆・☆・◆・☆・◆・☆・◆・☆・◆・☆・◆・☆・◆・☆・◆

<トピックス>

1. 参加者募集！産地と事業者の本気のマッチングイベント開催！
2. 「グリーンな栽培体系を学ぶ第2回オンラインセミナー」を開催いたします
3. 人生100年時代、老後生活に備えよう

◆◆◆現場の皆さんへ◆◆◆

【1. 参加者募集！産地と事業者の本気のマッチングイベント開催！】

コメ輸出に関心のある輸出事業者・生産者の方々の参加を募集します。

「米マッチング商談会2022」を全国4か所（12/8：札幌、12/14：大宮、1/19：仙台、1/26：新潟）で開催します。

「米マッチング商談会2022」は、「新たに輸出に取り組みたい！」「海外に新たな商流を開拓したい！」と考えている生産者の皆様と輸出事業者の皆様とのマッチングを実現する場です。

参加を希望される方は、以下のURLから事前にお申込みください。

コメの輸出にはじめて取り組む方は、事前に、最新の海外の需要動向や輸出の取組状況等についてのオンラインセミナー（動画）を受講していただくことをオススメします。

マッチング会場で明日に繋がる可能性を発見してください！

◇申込方法やオンラインセミナー等の詳細はこちら

<https://kome-matching.com/>

◇イベントに関するお問い合わせ先

株式会社グレイン・エス・ピー（担当：末田）

TEL：03-3816-0672（直通）

【2. 「グリーンな栽培体系を学ぶ第2回オンラインセミナー」を開催いたします】

「グリーンな栽培体系」の取組を学ぶ第2回オンラインセミナーを開催いたします。「化学肥料使用低減の技術体系とプラスチック被覆肥料の代替」と「農地からの温室効果ガス削減技術」の講演のほか、「グリーンな栽培体系への転換サポート事業」に取り組んでいる各産地から、取組状況

の発表もあります。

◇開催日時

令和4年12月13日（火）13：00～16：10

◇内容

- (1)「化学肥料使用低減の技術体系とプラスチック被覆肥料の代替」

名古屋大学 大学院 生命農学研究科 応用生命科学専攻

土壌生物化学研究室 客員研究員 柴原藤善 氏

滋賀県農業技術振興センター 環境研究部 主査 高山尊之 氏

- (2)「水田でのプラスチックコーティング肥料の被覆材流出防止対策の検証」 千葉県

- (3)「農地からの温室効果ガス削減技術」

農研機構 農業環境研究部門 気候変動緩和策研究領域 領域長 白戸康人 氏

- (4)「中干し期間延長と直播栽培を組み合わせた水稻栽培体系の確立」 福島県

- (5)「果樹栽培における環境負荷軽減技術と草刈労力削減技術の実証」 山形県

◇参加申込方法

参加を希望される場合は、事前のお申込みが必要です。

下記の URL よりサイトにアクセスし、必要項目を記入しお申込みください。

<https://share.hsforms.com/1eNfd26ZVSNuBNjk-VgnXfwcd2d2>

◇詳しくはこちら

https://www.maff.go.jp/j/kanbo/smart/jisedai_senryaku.html

◇お問い合わせ先

農林水産省農産局技術普及課（担当； 湊上、池田、道端）

TEL：03-3501-3769（直通）

【3．人生100年時代、老後生活に備えよう】

今秋、厚生労働省は全国の100歳以上の高齢者数が過去最多の9万526人になったと発表しました。9万人を超えるのは史上初で、これで何と52年連続で最多人数を更新したそうです。

長寿はおめでたいことです。しかし、ご自身が長生きすると考えてみた時に、一番気になるのは生活費という方も多いのではないのでしょうか。

高齢夫婦の生活費に関して、月に約22万円かかるという調査結果があります（令和2年総務省家計調査）。一方、国民年金のみの加入の場合、将来受け取れる年金額は約78万円で、月額にすると約6万5千円です。夫婦で合わせても約13万円にしかありません。

これだけでは、安定した老後生活を送ることは難しいと思いませんか？

○一生涯、受給できる農業者年金

この不安に応えるのが、国民年金の上乗せ年金として、老後を支える「農業者年金」です。少子高齢時代に強い積立方式・確定拠出型の年金で、農業者の方なら広く加入できます。

保険料は月額2万円（35歳未満で一定の要件を満たす方は1万円）から6万7千円までで、千円単位で自由に選ぶことができ、経営状況や老後設計に応じていつでも変更できます。

例えば、農業者夫婦が20歳から40年間、それぞれ月額2万円の保険料で加入した場合、将来の年金額は国民年金と農業者年金を合わせて月額約26万円となり、この年金は、一生涯、受給することができます。

○現役世代にも大きなメリット

老後生活を支える農業者年金ですが、保険料を支払う現役世代にもメリットがあります。

まずは、支払った保険料の全額が社会保険料控除の対象になること。保険料が月額1万円の場合は年間12万円、月額6万7千円なら、年間80万4千円が社会保険料控除の対象になります。また、iDecoとは異なり、生計を一にする家族分を含めて対象となるため、大きな節税効果が得られます。

○“国庫補助”があるのは農業者年金だけ！

「認定農業者で青色申告者」「認定新規就農者で青色申告者」など、一定の要件を満たす皆さまには、国から保険料の補助が受けられる「政策支援加入」もあります。保険料月額2万円（固定）のうち、最高1万円の国庫補助を受けることができます。様々な年金がありますが、保険料の国庫補助が受けられるのは、農業者年金だけです。

農業者年金基金のホームページでは、農業者年金の詳細な内容を紹介しています。将来受け取れる年金額を試算できるシミュレーターもありますので、ぜひお試しの上、ご加入をご検討ください。

◇詳しくはこちら（農業者年金基金ホームページ）

<https://www.nounen.go.jp/>

◇お問い合わせ先

独立行政法人農業者年金基金専門相談員

TEL：03-3502-3199

◆◆◆編集後記◆◆◆

先日、神社まで散歩していた時に七五三の催しを見かけたのですが、子どもたちの晴れ姿を見る

